

令和2年11月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和2年11月20日(金) 午前9時
白石町楽習館2階 研修室
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 下田委員 松尾委員 堤委員
- 3 事務局職員 出雲学校教育課長 中村生涯学習課長 宮崎主任指導主事
吉村学校教育課課長補佐 渡部生涯学習課課長補佐
土井生涯学習課課長補佐 梅木指導主事 川畑庶務係長
平田学校教育係長 原学校統合再編係長 永尾学校給食係長
山口生涯学習係長
- 4 前回議事録の承認
10月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案
付議第37号 令和2年度卒業式の期日について
付議第38号 令和3年度入学式の期日について
付議第39号 白石町教育委員会点検評価報告書について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第37号から付議第39号すべて議決
- 10 その他
 - ・事務局からの報告

1 開 会 8:54

出雲課長

2 前回議事録の承認 8:55

10月定例教育委員会の会議録を資料により説明

委員全員承認

3 教育長の報告 8:56

(前回以降の主な動向)

資料により数点を内容紹介。

10/25 白石中学校修学旅行、小学校運動会

10/27 中学校統合再編計画住民説明会（11/15まで11回）

11/6 サガン鳥栖サッカー教室、有明南小学校5年稲刈り体験活動

11/10 北明小学校親子食育教育（4年生）

11/11 白石小学校スクールコンサート

六角小学校1・2年生ポニー乗馬体験活動

11/12 もの作り体験キャラバン（洋菓子）

11/17 情報モラル講座（六角小学校、4年生以上と保護者）

(教育委員会県連絡協議会《11/13》より)

- ・令和3年度市町立小・中・義務教育学校教職員人事異動方針及び実施要領
実施要領について提案及び承認。統括事務長、事務長の職務役目の整理及び
指導教諭、教職員の異動区分の変更。へき地学校勤務職員取扱要綱(案)等。

(杵島藤津地区教育長会《11/17》より)

資料により概要の報告。

- ・生活指導班（今年度の中間まとめ）
不登校、いじめ、問題行動、交通事故・生活事故・犯罪被害について
- ・令和3年度佐賀県立中学校入学者選抜追検査実施要領
新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等への救済措置。
- ・特別支援教育への支援
各学校からの要請に応じて専門的な立場での支援。
- ・GIGAスクール構想実現に向けた取組
本町も取組むことで準備を進めているが、県の支援も検討されている。
- ・学校支援
サービスを含めての支援。

- ・学校経営班
サービス研修、交通加害事故等について。
- ・交通事故発生（加害等）状況調べ
小中学校合計13件。

4 付議事項の協議 9:20～

付議第37号

令和2年度卒業式の期日について

川畑係長：資料に沿って説明。

中学校 令和3年3月6日 土曜日

小学校 令和3年3月19日 金曜日

北村教育長：入試等の期日の説明もお願いしたい。

梅木指導主事：県立高校の一般選抜は3月3日、4日。インフルエンザ及びコロナウイルス感染症の対策としての追検査が9日、11日に合格発表。17日が二次募集、19日が二次募集の合格発表ということで、県立高校の入試の日程が示されている。

稲佐委員：中学校の卒業式が土曜日になっておりますが、土曜日だからといって別に支障はないのでしょうか。

宮崎主任指導主事：土曜開校ということで、昨年度も実施しております。

稲佐委員：土曜開校という形で実施するということですね。

北村教育長：前年度も中学校は土曜日でした。

稲佐委員：振替無しですね。

宮崎主任指導主事：子ども達については、土曜開校ですので無しですが、職員については勤務の時間がかかっているため振替があります。

永尾係長：卒業式の当初予定が金曜日になっておりましたので、金曜日が給食無しになっておりましたけれども、卒業式が土曜日になった関係で金曜日が日数の関係で提供できないことになろうかと思っております。

北村教育長：式の日程については、これでよろしいでしょうか。

委員全員承認（付議第37号）

付議第38号

令和3年度入学式の期日について

川畑係長：資料に沿って説明。

中学校 令和3年4月9日 金曜日午後

小学校 令和3年4月9日 金曜日午前

例年、木曜日に中学校、金曜日に小学校としていたが、県立高校の入学式が木曜日という関係でこの日程となっている。昨年度もこういう形になっていたかと思う。そのため校長会でも意見を聞き、色々な案が出たが最終的に午前、午後でお話をしている。

北村教育長：いかがでしょうか。おそらくコロナウイルス感染症も大きく改善するということも認められないため、昨年度の式のように来賓等は控えていただいての実施になるかと思う。特に県立高校と中学校の重複というのがこれまでもあり、県立高校の入学式時は校納金を保護者が納めないとならないということで、中学校と重ねない方がいいだろうということが話に出されたところです。同じ日に小、中というのは本町でも初めてであろうと思います。

稲佐委員：例えば、午前、午後に差し掛かった時、教育長さんの説明ではコロナ禍の中であれば来賓は御遠慮してもらおうということになればいいが、来賓もとなれば終日となる。ですので、来賓は御遠慮くださいであればいいと思うが。小学校は小学校、中学校は中学校だけの関係者が行けばいいわけだが、例年議会の文教厚生常任委員さんまで来賓でお見えになっておりましたので、他の市町ではないことで本町のいいところだなあと私は思っておりました。

北村教育長：前年は告辞だけで、教育長だけが出席いたしました。

稲佐委員：コロナ禍であればいいでしょうけど。

北村教育長：今の状況では、従前の形に戻すということは難しいと考えているところです。よろしいでしょうか。

(全委員承諾)

委員全員承認（付議第38号）

付議第39号

白石町教育委員会点検評価報告書について

川畑係長：資料に沿って説明。

11月26日に第1回の評価委員会を開催。8つの重点目標の中から16の事業について点検評価をしていただいた。今後は、本日の教育委員会で承認いただきましたら11月30日の第2回評価委員会で確認いただき修正等無ければ報告書とする。その後議会へ報告し公表となる。今回大きく4つの小中学校のパソコン整備、就学等支援事業、学校給食事業、ロードレース大会事業について御意見等をいただいている。なお、次年度は現在行っている事業について、9つの重点目標

の中から19の事業について点検評価をしていただく。

北村教育長：教育委員会の点検評価報告書だが、申すまでもないことですが、いわゆる地教行法の改正によって、主要な施策等について評価をして、議会に提出し広く公表することとなっておりそれに基づいてのことです。前年度の16項目について、評価いただいた結果を報告しました。委員から何かありますか。

稲佐委員：先ほどの説明にもありましたが、本町はICT環境整備については他市町より先に佐賀県内でも電子黒板など取入れて十分整っていると思う。しかし、現実を見たときにこれは全国的なことですが、不登校あるいは、引きこもりの数が過去最多ということで先般新聞にも報道されていたことかと思う。それで、スクールカウンセラーあるいは、スクールソーシャルワーカーとかスクールアシスタントにかなりの財政投資を行っている。その成果というのがあまり出ていないのではないかと思う。財政投資は行ったが少なくなったという成果は出てきてない。不登校で通学できなかった、ではオンライン授業をしましょうと、そういう方法もあるとは思いますが、原則としてはやはり学校に登校して、集団の中で生活をさせるということを地域住民にキチッと促して、例えば区長、駐在員、分館長そういう方達との横のつながりを行った親の教育をしていくことが必要ではないかと思う。私も何十年とかかわってきたが、やはり親をキチッと教育しないといけないと思う。ですから、何かそれだけの効果を出すとか、あるいはキチッとすべきところはキチッとさせるということをしていかないと連携、連携と言いながら言葉だけの連携であって、実際の行動が行われていないような感じがします。現在は個人情報等色々な問題があるかとは思いますが、親の認識が非常に甘いと思う。ですからそこをキチッとすべきところは言っていかないとその時の対処療法だけであってまた戻る。ですから継続的なことを見ていくことも必要ではないかと思いました。

北村教育長：先ほどの件については、非常に重いことで特に引きこもり、不登校は右肩上がり、非常に個人的にも憂慮している。このことは、県の教育長とも討論をしたことがある。ターニングポイントがいつ来るのか、これでいいのかということ。先ほど言われましたがやはり、この件での家庭教育の重要性というのは避けて通れない。しかし、これまで行政は、家庭というプライベートな空間にどこまで踏み込めるのかということで、なかなか有効な施策が打てていない。かつてあった家庭教育講座なども随分後退した。しかし、やはり施

策というよりも一緒になってということをやっつけていかないと一向に光が見えてこない状況にあると思う。そういう意味で、コミュニティ・スクールの中でも「お手伝い」というのは、まさにそのことを見通している。人に貢献できた時初めて自分の価値が確認できるという考えでやっているが、「家庭学習」、「挨拶」はいい結果につながっているが、残念ながら「お手伝い」は逆行している。そういうことで是非子ども達にそういう体験をさせて、家庭の中で「ありがとう。助かった。」という声が飛び交うことで、子ども達に自信と自己肯定感を持たせたい。そういうのがないと何かトラブルが起こった時に学校へ行きたくないけど何とかこれを乗り越える元気さが出てこないと思う。そういう意味で、今後も形だけの連携、連携ではなくて実のある連携をしっかりと進めていく必要もあるし、もっと家庭と関わる施策というのも工夫していかないといけないと思います。

下田委員：スクールアシスタント事業、スクールカウンセラー事業併せて、放課後子ども教室推進事業とてもよその町に比べても支援をいただいていると思っている。しかしながら、学校に行けてない子ども達は、学校に来てからの支援では遅いです。学校に来る前に本来は手立てをしなければいけなかった子ども達が漏れていた、いうように子ども達は、学校に入る前に学校に行けない要素を持って育ってきている。先ほどの家庭教育もそうですけど、もっと以前の手立て、早期発見、早期療育というのを2歳でも特性は出ています。ですから、もっと早い段階で教育として何らかの手立てをする必要があると感じています。発達支援事業、発達支援センターなどの町の支援が必要だなあと思っている。

北村教育長：以前もこのような話をしたことがありますが、やはりおっしゃったように子ども達の生きる力には2つある。1つは「認知力」読み、書き、算、知識を中心としたもの。それからもう1つ「非認知力」がある。思いやり、優しさ、友達と協力すること、前向きに頑張ること、失敗しても立ち上がること等、特にこの「非認知力」が生きる力の幹になると思う。「認知力」は、無いよりもあった方がいいですが、現実テストスコアはものすごく高いが全然「非認知力」がなくて社会性がないという方が統計は解からないが増えているように思う。教職員でもそうで、若者の就職してからの挫折の状況を見ているとそうです。これはまさに学校でというよりも家庭、地域でまさに幼少から培って、まさに積み重ねでやっていくものだと思うが、ここがなかなか難しい。本町でも細やかながら生涯学習課で家庭教

育支援事業ということで、領域は違いますが園長会にも出向いて、短大のまさに保育、幼児教育の専門家を呼んでミニ講演会で「一人で悩まないで、勉強会をしましょう。」ということで講師謝金の設定などをしてやっていますが、残念ながら幼稚園はよくやっていますが、町内の保育園はこれに乗っかっていただけていない。幼保と小学校の低学年がなかなかネックになって、この辺の問題意識、問題提起なども今後しっかりしていかにといけない。そういう意味では本町も子どものことは一元化する方法がいいのでしょうか、ちょっと組織としては厳しいかなというところがあります。

堤 委員：今教育長がお話しされた家庭教育支援事業ということで資料が付いているが、この予算が執行できていないということか。8小学校のうち6小学校ということで、小学校の方はまあまあされているけどこの対象となる幼保がされていないというところだと思うが、働きかけはされているのか。

渡部課長補佐：委員さんからの話がありますように8小学校中6小学校ということで、小学校の方は御協力いただいてやっています。どうしても幼稚園や保育園に関しては、度々園長会などありますのでその都度こういう事業を是非活用くださいという働きかけは行っているが、結果的にはゼロということで予算の消化というよりもそういう働きかけが足らなかったということでB判定としている。

堤 委員：まだこういうことに関して、保育園側に興味がないというか関心がそこまで高くないということか。少し保護者さんからこういうのがあって、やっていただけないかという少し保護者側からの働きかけではないが、要望とかがあれば少し動いていただけるのではと思いました。

渡部課長補佐：働きかけということでおっしゃる通りですが、やはり行政からの働きかけということで要望していただけないところも一部あるのかなとは思っています。

北村教育長：ありがとうございます。本来ならここに幼稚園も保育園も上がってこなければなりません、前年度は幼稚園もしていただいています。しかし、保育園が出てきません。私も園長会で時間をいただいてこのことについては何回となく話をした経緯はあるが、もっと園長さんと深く話し合う機会を持ちたいと思いながら現在に至っているが、保護者の方も預かってもらっているということで精一杯かなというところで、課題であります。手をこまねいてはという思いは持っています。次年度の評価点検の項目についてもよろしいで

しょうか。
(全委員承諾)

委員全員承認（付議第39号）

5 その他 9:57～

(1) 中学校統合再編計画（案）の住民説明会での意見について

原 係長：資料により説明。

現段階では、質問、意見、回答をしたものを用意。今後整理を行い議会への説明、ホームページ等に掲載し住民に周知していきたい。

堤 委員：参加者数のところで、中学校ということで考えると現在の白石中学校区の4小学校については、現状人数が増えるということ以外何ら変わりがない。どちらかと言えば福富、有明の地域の方たちが通学が遠くなるかそういう感じだと思う。参加者数を見ると影響の少ない白石小学校区が少なく、福富、有明地域が多いのかと思ったが結果を見るとそうでもないためどうかなあと感じた。

原 係長：分析までは出来ていないが、中学校ということで関心がどうなのだろうというところでもあります。分析はしないといけないとは思っているが、コロナ禍での開催であったということも思っている。

(全委員承諾)

(2) 問題行動月別報告（10月分）について

梅木指導主事：資料により詳細説明。

不登校について、小学校で現在別室等の対応2名、前月より改善2名。中学校は新規2名。前月より改善5名。いじめの報告新規小学校2件、中学校1件。

(全委員承諾)

(3) 白石町教育支援委員会の経過報告

梅木指導主事：資料により詳細説明。

現在、結果を学校に通知し、保護者の方と面談いただき入級等について同意を取るという形で進めている。対象者218名の審議を行った。

堤 委員：これは、先生方が問題と思っている子ども達に保護者や家族の同意が得られずにここに上がってこない子ども達もいると思うが、その辺は学校側と教育委員会で情報共有を行っているか、人数把握等。

梅木指導主事：その辺りについては、統計を取ったことはない。基本的に学校の方でまず支援委員会を開いていただく。その結果上がってきたも

のについて取りまとめて審議している。

堤 委員：保護者さんの同意はどの時点で取るのか。

梅木指導主事：この委員会の中では、保護者は同意していないけれども、この結果をもって話をされたりという形でも上がってきている。

堤 委員：ここまでは上がってきているが、先の方でということですね。

梅木指導主事：この後、同意しないという方も今までいらっしやった。

北村教育長：特別支援教育の対象ですので、普通学級の中にもグレーゾーンの方がいますので、その辺りはスクールアシスタントに関わってもらっている。

下田委員：就学時健康診断の時に新たに見つかったりしたか。

梅木指導主事：幼、保からの小学校への接続については、5月にスクリーニングに教育委員会、通級指導の先生と行き、8月には面接検査、就学相談と幼、保の先生に出来る限り医療機関等への接続等の情報共有を行っている。

(全委員承諾)

(4) 学校給食施設の統合再編について

永尾係長：資料により詳細説明。

今年度、学校統合再編の答申を受け、学校給食施設の統合再編についての話し合いを学校給食運営委員会で行っている。

堤 委員：全体で1つにすると2,000食対応ということだが、現実的に令和元年に生まれている子どもの数が110人くらいで、今年は4月から9月で50人くらいなので、多分今年100人くらいだと思う。これから親になる世代は少子化が始まって、今の親よりまだ少なくなる。15年後は1,000食切るくらいの対応になってくると思うため、その辺りの情報としては委員の皆さんに知っていただいていた方が判断するうえでいいと思う。

永尾係長：学校統合再編の時の資料がありますので、それを使いながら説明していきたい。

松尾委員：次回の委員会では、工事等の金額の話が出てくる。

永尾係長：次回出そうかと思っている。

(全委員承諾)

(5) 新型コロナウイルス感染症対応について

宮崎主任指導主事：資料により詳細説明。

新型コロナウイルス感染症の対応のための準備等。

北村教育長：この件、すでにご存じと思いますが、コロナ関係で学校は極力閉めないという方向で動いています。

(全委員承諾)

(6) 令和2年度立志式の開催について

平田係長：資料により説明。

川畑係長：補足ですが、これまで1カ所で行っていたため、閉会の挨拶を輪番でお願いしていた。今回3会場ですので学校との打合せで、式次等お願いされた場合は改めて委員へお願いする。

稲佐委員：講師の先生は、従来から町内在住あるいは、町内出身者としていた。やはり、そういうことを踏襲しながら行っていただきたい。

北村教育長：今回の分散開催ですが、子ども達の活躍する場を考えていただくということは、非常にいいことだと思います。

(全委員承諾)

(7) 成人式の自粛要請について

山口係長：資料により説明。

コロナウイルス感染症防止対策での開催。

(全委員承諾)

(8) 12月行事予定表

川畑係長：資料により説明、次回教育委員会の日程調整。

12月6日、「白石町教育の明日を考える集会」

(全委員承諾)

(9) その他

- ・白石町教育の明日を考える集会について

中村課長：資料により詳細説明。

開会あいさつを稲佐教育長職務代理者、来賓の祝辞は町長のみ行い時間短縮で開催。

(全委員承諾)

土井課長補佐：歌垣の郷ロードレース大会のオンライン版の説明。

6 閉 会 11:00

出雲課長